

# 権力を告発する！

2017/01/19

No.005

公安警察による全学連大会襲撃弾劾！  
告訴・国賠ニュース

発行：全学連救対部  
03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp

## 東京都は氏名不詳の公安警察官 4名の情報を開示せよ！



公安警察官 A



公安警察官 B



公安警察官 C



公安警察官 D

1月18日、氏名不詳の公安警察官4名についての東京都に対する「調査囑託」を、東京地裁に申し立てました。4名の公安警察官は全学連大会開催

期間、参加者に暴行を加えた実行犯です。

東京都は公安警察官の情報を直ちに開示せよ！

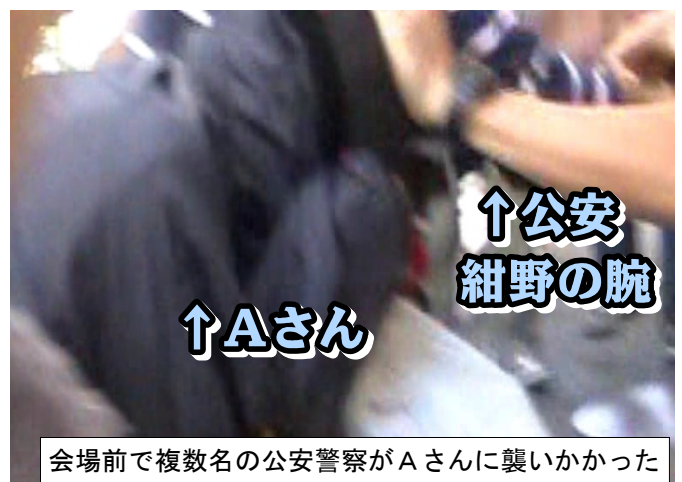
第1回裁判の日程が分かり次第お知らせします！

## 公安警察から襲撃を受けたAさんの感想

私は2016年に初めて全学連大会に参加しました。大学での学生運動のあり方について多くの人と議論したいと思ったことが参加の動機でした。そして、これまでの大学生活で私が大切にしてきた「自治論」がどこまで全国の学生に通じるのだろうかという緊張と、きちんと伝えたいという思いをいっぱい持って、大会に向かいました。

しかし、公安警察による暴行という、全く私の想定外の出来事で全学連大会は幕を開けました。公安警察が大会の開催場所で待ち構えているという情報は聞いていましたが、こんなにも直接的な暴力が振るわれるとは思っていませんでした。私は着ていた服を引っ張られ、持っていたお弁当も履いていたサンダルもなくなってしまい、転びながらなんとか

会場にたどり着きました。会場まで手助けしてくれた全学連の方々に感謝します。なぐられたり、血を流している人もいました。（裏面に続く）



会場前で複数名の公安警察がAさんに襲いかかった

警察権力というものが国家の暴力装置であり、「市民を守る」などと言いながら、人々のためではなく国家のためにはたらいっているのだということは、これまでの人生の中でもたびたび感じてきたことです。私の住んでいる学生寮には、数百人の機動隊を引き連れて公安が家宅捜索に来ます。明らかな示威行為であり、学生の自主活動を弾圧するためのものです。しかし、それよりもさらに直接的な暴力が現場には吹き荒れていました。そうまでして全学連大会を開催させたくなかったのでしょうか。

大会は公安警察の暴力への怒りを全体で確認するところから始まり、基調提起、参加者の活発な議論へと続きました。私は参加の動機を余すところなく提起しきったと思っています。そして、公安への怒りによって、全体の一体感が高まっていたと思います。

公安に対して、暴力をふるっても無駄だからやめろということと、学生運動へのすべての弾圧を今すぐにやめろということを強く言いたいです。そして、不当な圧力に屈することなく自分の人生を生きていくのだという決意を固めています。

## ⑤ 岡野 直人 暴力公安警察官



警視庁公安部公安第一課所属の岡野直人は、学生運動弾圧の中心人物であり、公安警察の中で最も暴力的な人物です。

全学連大会当日も現場で指揮を執っていました。あらかじめメガネを外すなど、参加者に暴行を加える気満々でした。参加者の帽子を奪い、頭を抑えつけるなどの暴行を加えました。

### 全学連大会襲撃事件とは？

昨年9月1日～2日に都内で開催した全学連大会の会場前で、公安警察が参加者に対し暴力的な襲撃行為を行った事件。公安警察は、「参加者のメガネや帽子をはぎ取って奪い去る」、「胸倉をつかんで殴る」、「地面に引き倒す」、「首を締め上げる」などの白昼公然たる暴行におよび、暴行をやめさせようと体を張って止めた参加者たちにはそれ以上の苛烈な暴力をふるいました。

▼当日の映像が「Youtube」で見れます！

<https://www.youtube.com/watch?v=606GE0kImFk>

### カンパのお願い

告訴・国賠闘争にあたって、弁護士費用含め多額の費用がかかります。ぜひともカンパをお寄せ下さい。！

(郵便振替) 00190-0-766112

「全日本学生自治会総連合」